

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5年 3月

事業所名 ラロゴKIDS荒川

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			プレイルームに必要最低限の教具しか置かず、活動範囲を狭めないようしている	
	②	職員の配置数は適切である	○				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			昨年に引き続き同じである。	
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			毎日の職員の打ち合わせ、振り返りを主に施設内ツールを用いて行っている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			年に一度行い振り返り課題か前に努めている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		第三者評価という繋がりがなく、どのように取り組むべきか模索中。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			改めた研修の時間も中々難しいため、毎日の職員の打ち合わせ、振り返りを主に施設内ツールを用いて行っている	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			法令に遵守している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○			標準化されたものはないため、次年度以降作成に努める
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			2週間おきに大きなプログラムとその中でも細かく取り組むプログラムを随	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			2週間おきに活動を変更している	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			毎日の打ち合わせ、振り返りによってご利用者様のご様子を確認しながら、その都度課題設定、取り組みを確認している	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			質問項目の形で取り行っている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○			行なっている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			シフト等の問題もあるため、振り返ることのできるオンラインツールを用いて文字に起こして共有している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			記録に残している。	細かく検証していると言われると、不十分な部分もあるので、その部分の課題を明確化し、次年度以降改善に努める。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>				基本的に6ヶ月に1度の更新に準じているが、中には状況によって途中で変わるご利用者様もいると思うので、柔軟に対応する必要がある
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	<input type="radio"/>				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>			児発管を中心にして取り組んでいる	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	<input type="radio"/>			保護者とオンラインツールを用いて、抜け漏れがないように、またリアルタイムで情報が更新されるようにしている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		<input type="radio"/>			医療的ケア児の受け入れがないため
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		<input type="radio"/>			今年度は該当するご利用者様がいなかったため
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		<input type="radio"/>			これまでそのように取り組む機会がなかったが、該当するご利用者様もいるので連携していく
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>			専門の大学教授より研修受講している	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			<input type="radio"/>		地域と繋がること、また普通学級のお子様と繋がることに難しさを感じる。逆にどのようなしたら繋がれるかを行政からご教授頂きたい。
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>			令和4年度、荒川区主催の協議会に参加しています。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>			送迎時、また共有ツールを使ってすぐに連絡ができるようにしている。	
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		<input type="radio"/>			ペアレントトレーニングという形では支援はしていないが、日々コミュニケーションをとる中で、お子様たちへの接し方などのフィードバックを行なっている。	
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>			契約時、また時勢によって運営規定に変更があった際に、ツールを用い全体に周知している。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>			面談や送迎時に密に話をさせて頂いている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		あまりニーズがある項目ではないが、必要であれば善処する。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			取り組んでいる。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		毎月の活動予定表の送信、毎日の活動の写真送信を行なっている。	「会報」という形では発行していないので、次年度以降改善に努める。
	③⑤	個人情報に十分注意している	○			運営法人内で情報セキュリティルールの設定や研修に取り組んでいる。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			取り組んでいる。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○		次年度以降改善に向けて取り組みます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			取り組んでいる。	保護者様への共有に不十分さもあるように感じるので、次年度以降改善に努める。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			取り組んでいる。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			定期的に取り組んでいる。	次年度は頻度を増やしていく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等サービス計画に記載している		○		該当する児童がいないため、そのよう状況になっていないが、一人一人個別の対応が必要なことを職員間で共有し、保護者とも相談する体制を取っている。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			取り組んでいる。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			取り組んでいる。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。